

様式第2号

長嶺中学校 第5回コミュニティ・スクール協議会 報告書

- 1 開催日時 令和8年2月19日(木) 18:00～19:15
- 2 場 所 長嶺中学校 会議室
- 3 参加者 狩俣稔、濱元秀夫、赤嶺睦夫、榮野元康一、宮城恵、川満玄治、
我喜屋賢、新崎峰子、安座間裕哉、宮良孝、前花和香子、
平良利江子(コーディネーター)
- 4 会議内容
 - (1) 今回の会議の主なテーマ
 - ・生徒会企画の「てくてく登校推進取組(2月2日～13日)」についての報告
 - ・学校評価後期(12月実施)について
 - ・次年度の学校経営に関する基本方針について
 - ・CSの今年度の成果と課題について
 - ・次年度の「学校テーマ」「活動計画」について
 - ・その他
 - (2) 会議内容
 - ① 生徒会企画の「てくてく登校推進取組(2月2日～13日)」についての報告
実施期間中4割以上の生徒がてくてく登校を行った。車の渋滞も目に見て分かるレベルで緩和されていた。
現在、生徒会で実施期間後の状況を確認し、取組期間とそうでない期間の比較を行っている。
 - ② 学校評価後期(12月実施)について
7月から数値が下がっている項目について確認し、その改善策を検討した。
 - ③ 次年度の学校経営に関する基本方針について(校長)
【説明後、委員より】
 - ・「一人ひとりを大切にする」という説明があったが、すでに今年度も体現しているのを目の当たりにしている。次年度もその考えを大切にしてほしい。
 - ・今年度自治会の清掃に12名の中学生が参加してくれた。地域との連携を今後さらに深めていってほしい。
 - ・「地域」という視点の中に「長中校区」という小学校CSとの連携という考えも入れてほしい。連携を密にすることで子どもたちのためにできることがさらに増えると思う。

④ CSの今年度の成果と課題について

【成果】

- ・自治会と連携し、生徒会から全校生徒へ周知することで、地域の清掃に参加する生徒が増えた。
- ・生徒会からの要望を受け、「若鷹フェスタ」で軽食を準備して提供することができた。また、その取組に多くの保護者や地域の方が参加し、みんなで楽しく取り組めた。
- ・朝の渋滞という学校と地域共通の課題について、熟議で意見を出し合い、生徒会主催で「てくてく登校」推進の取組を実践できた。その結果渋滞緩和にもつながった。

【課題と対応策】

- ・学校側が地域行事に関する情報を得るのが遅かった。もっと早く把握するために自治会等との連携を深めることが求められる。
→今年度9月に実施した「生徒会との意見交換会」を7月に早めることで自治会との連携開始の時期を早める。
- ・長中校区3校での連携がない。
→「長中校区3校合同CS」の開催を検討する。今年度2月の長中校区管理職連絡会で提案する。

⑤ 次年度の「学校テーマ」「活動計画」について

【令和8年度学校テーマ】

「つながる！動く！変わる！長中 ～校区連携を通して～」

【会議の様子】



校長による学校経営方針説明



「学校テーマ」考え中

これからも学校・地域の
ために協働して
取り組んでいきます！

